

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント
表紙	(別紙) 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 (令和7年4月1日以降入札を行う工事から適用)	(別紙) 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 (令和8年4月1日以降入札を行う工事から適用)	
目次	<p>4節 雑工</p> <p>1-1 削孔</p> <p>1-1-1 適用範囲 ----- 16</p> <p>1-1-2 施工フロー ----- 16</p> <p>1-1-3 代価表作成手順 ----- 16</p> <p>1-1-4 コンクリート削孔 ----- 16</p>	<p>4節 雑工</p> <p>1. 総則</p> <p>1-1 適用範囲 ----- 16</p> <p>1-2 積算ツリー ----- 16</p> <p>1-3 積算フロー ----- 16</p> <p>1-4 数量計算等 ----- 16</p> <p>1-4-1 集計数値 ----- 16</p> <p>1-4-2 数量の算出 ----- 17</p> <p>2. 現場鋼材溶接工</p> <p>2-1 適用範囲 ----- 17</p> <p>2-2 陸上と水中の工事区分 ----- 17</p> <p>2-3 現場鋼材溶接</p> <p>2-3-1 施工フロー ----- 17</p> <p>2-3-2 代価表作成手順 ----- 17</p> <p>2-3-3 施工方式 ----- 18</p> <p>2-3-4 施工歩掛 ----- 19</p> <p>2-4 被覆溶接（水中）</p> <p>2-4-1 施工フロー ----- 21</p> <p>2-4-2 代価表作成手順 ----- 21</p> <p>2-4-3 施工方式 ----- 21</p> <p>2-4-4 施工歩掛 ----- 22</p> <p>2-5 スタッド溶接（水中）</p> <p>2-5-1 施工フロー ----- 23</p> <p>2-5-2 代価表作成手順 ----- 23</p> <p>2-5-3 施工方式 ----- 23</p> <p>2-5-4 施工歩掛 ----- 23</p> <p>3. 現場鋼材切断工</p> <p>3-1 適用範囲 ----- 24</p> <p>3-2 陸上と水中の工事区分 ----- 24</p> <p>3-3 現場鋼材切断</p> <p>3-3-1 ガス切断 ----- 24</p> <p>3-3-2 水中酸素アーク切断 ----- 26</p> <p>4. その他雑工</p> <p>4-1 清掃</p> <p>4-1-1 適用範囲 ----- 28</p> <p>4-1-2 施工フロー ----- 28</p> <p>4-1-3 代価表作成手順 ----- 28</p> <p>4-1-4 施工歩掛 ----- 28</p> <p>4-2 削孔</p> <p>4-2-1 適用範囲 ----- 29</p> <p>4-2-2 施工フロー ----- 29</p> <p>4-2-3 代価表作成手順 ----- 29</p> <p>4-2-4 コンクリート削孔 ----- 29</p>	目次の修正

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント
<p>1節被覆・根固工 1. 総則 P2</p>	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>被覆石工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工水深 → 被覆石工 ・施工規模 → 被覆石の積算 → ・被覆石投入代価表 ・水中・陸上の区分 → 被覆均しの積算 → ・被覆均し代価表 ・均し精度 ・割石質量 ・潮待ちの有無 <p>被覆ブロック工 被覆ブロック製作の積算 「8節 消波工」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工方式 → 被覆ブロック ・ブロック質量 → 据付の積算 → ・ブロック転置代価表 ・作業種類 → 据付の積算 → ・ブロック運搬据付・仮置代価表 	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>被覆石工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工水深 → 被覆石工 ・施工規模 → 被覆石の積算 → ・被覆石投入代価表 ・水中・陸上の区分 → 被覆均しの積算 → ・被覆均し代価表 ・均し精度 ・割石質量 ・潮待ちの有無 <p>被覆ブロック工 被覆ブロック製作の積算 <u>「港湾請負工事積算基準 第1部 第3章 8節 消波工」参照</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工方式 → 被覆ブロック ・ブロック質量 → 据付の積算 → ・ブロック転置代価表 ・作業種類 → 据付の積算 → ・ブロック運搬据付・仮置代価表 	<p>記載の修正</p>
<p>P3</p>	<p>2-1 根固ブロック製作の積算（施工パッケージ）</p> <p>2-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → クレーン規格の選定 → ・クレーンの機種・規格 ・対象物質量とアトリチ ・コンクリート打設方法 <p>2-1-4（施工パッケージ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準単価（代価） → 補正式 → ・根固ブロック製作積算単価（代価） ・市場単価 ・クレーン賃料 <p>積み上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 足鉄筋荷場 → ・鋼製枠組足場架払代価表 ・市場単価 → 鉄筋荷卸 → ・鉄筋荷卸代価表 ・現場条件 → 鉄筋 → ・鉄筋加工組立代価表 → 吊鉄筋・吊ハール組立 → ・吊鉄筋組立代価表 <p>根固ブロック製作の積算（積み上げ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → クレーン規格の選定 → ・クレーンの機種・規格 ・対象物質量とアトリチ ・コンクリート打設方法 <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 底面 → ・ルーフィング敷設代価表 ・市場単価 → 足場 → ・鋼製枠組足場架払代価表 ・現場条件 → 鉄筋 → ・鉄筋荷卸代価表 → 鉄筋加工組立代価表 → 吊鉄筋組立代価表 型枠 → ・鋼製型枠組立組外代価表 コンクリート → ・コンクリート打設代価表 <ul style="list-style-type: none"> ・施工方式 → 根固ブロック ・ブロック質量 → 据付の積算 → ・ブロック転置代価表 ・作業種類 → 据付の積算 → ・ブロック運搬据付・仮置代価表 <p>水中コンクリート工の積算 「4節 本体工、4.3 場所打式」参照</p>	<p>2-1 根固ブロック製作の積算（施工パッケージ）</p> <p>2-1-3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → クレーン規格の選定 → ・クレーンの機種・規格 ・対象物質量とアトリチ ・コンクリート打設方法 <p>2-1-4（施工パッケージ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準単価（代価） → 補正式 → ・根固ブロック製作積算単価（代価） ・市場単価 ・クレーン賃料 <p>積み上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 足鉄筋荷場 → ・鋼製枠組足場架払代価表 ・市場単価 → 鉄筋荷卸 → ・鉄筋荷卸代価表 ・現場条件 → 鉄筋 → ・鉄筋加工組立代価表 → 吊鉄筋・吊ハール組立 → ・吊鉄筋組立代価表 <p>根固ブロック製作の積算（積み上げ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場条件 → クレーン規格の選定 → ・クレーンの機種・規格 ・対象物質量とアトリチ ・コンクリート打設方法 <ul style="list-style-type: none"> ・クレーンの機種・規格 → 底面 → ・ルーフィング敷設代価表 ・市場単価 → 足場 → ・鋼製枠組足場架払代価表 ・現場条件 → 鉄筋 → ・鉄筋荷卸代価表 → 鉄筋加工組立代価表 → 吊鉄筋組立代価表 型枠 → ・鋼製型枠組立組外代価表 コンクリート → ・コンクリート打設代価表 <ul style="list-style-type: none"> ・施工方式 → 根固ブロック ・ブロック質量 → 据付の積算 → ・ブロック転置代価表 ・作業種類 → 据付の積算 → ・ブロック運搬据付・仮置代価表 <p>水中コンクリート工の積算 <u>「港湾請負工事積算基準 第1部 第3章 4節 本体工、4.3 場所打式」参照</u></p>	<p>記載の修正</p>

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント
1節被覆・根固工 2.根固ブロック工 P6	<p>2-1-1-1 適用できる範囲 適用できる範囲は、根固ブロックの諸元が「2-1-4-2 条件区分」と合致するものとする。なお、合致しない場合は「5-2 根固ブロック製作」を適用する。</p> <p>2-1-2 施工フロー</p> <p>注) 1. 施工パッケージで対応しているのは の部分である。 2. 施工パッケージで対応していない部分は「5-2 根固ブロック製作」により別途必要に応じて追加計上すること。</p>	<p>2-1-1-1 適用できる範囲 適用できる範囲は、根固ブロックの諸元が「2-1-4-2 条件区分」と合致するものとする。なお、合致しない場合は「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第3章 5節 被覆・根固工、5-2 根固ブロック製作</u>」を適用する。</p> <p>2-1-2 施工フロー</p> <p>注) 1. 施工パッケージで対応しているのは の部分である。 2. 施工パッケージで対応していない部分は「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第3章 5節 被覆・根固工、5-2 根固ブロック製作</u>」により別途必要に応じて追加計上すること。</p>	記載の修正
1節被覆・根固工 2.根固ブロック工 P7	<p>2-1-3-2 機種・規格の選定 クレーンの規格は、対象物(型枠等)の質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能」により機種・規格を変更することができる。</p>	<p>2-1-3-2 機種・規格の選定 クレーンの規格は、対象物(型枠等)の質量、アウトリーチ等の現場条件を考慮し、「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、1. 起重機船、クレーン等の規格と性能</u>」により機種・規格を変更することができる。</p>	記載の修正

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント
<p>3節 構造物撤去工 2. 取壊し工 P14</p>	<p>2-1-3 代価表作成手順 [コンクリート取壊しの積算]</p> <p>【第4章 市場単価】 2-1-4</p> <p>・施工条件 → 取壊し方式の選定 → ①取壊し方式 機械施工 〔大型ブレーカ コンクリート圧砕機〕 〔人力施工 コンクリートブレーカ〕</p> <p>↓</p> <p>①取壊し方式 ・構造物の種類 → 単価区分の選定 → ②土木工事標準単価(規格・仕様)</p> <p>↓</p> <p>2-1-5</p> <p>・低騒音、低振動対策 → 補正係数の選定 → ③補正係数</p> <p>↓</p> <p>②土木工事標準単価(規格・仕様) ③補正係数 → 代価表の作成 → ・構造物取壊し 10m³当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[コンクリートガラの小割の積算]</p> <p>・現場条件 → 小割必要性の検討 → ・小割が必要な場合は 別途計上</p> <p>↓</p> <p>[コンクリートガラ運搬の積算]</p> <p>2-1-5 (施工パッケージ)</p> <p>・標準単価(代価) → 補正式 → ・コンクリートガラ運搬 積算単価(代価) 1m³当り</p>	<p>2-1-3 代価表作成手順 [コンクリート取壊しの積算]</p> <p>【<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>】 2-1-4</p> <p>・施工条件 → 取壊し方式の選定 → ①取壊し方式 機械施工 〔大型ブレーカ コンクリート圧砕機〕 〔人力施工 コンクリートブレーカ〕</p> <p>↓</p> <p>①取壊し方式 ・構造物の種類 → 単価区分の選定 → ②土木工事標準単価(規格・仕様)</p> <p>↓</p> <p>2-1-5</p> <p>・低騒音、低振動対策 → 補正係数の選定 → ③補正係数</p> <p>↓</p> <p>②土木工事標準単価(規格・仕様) ③補正係数 → 代価表の作成 → ・構造物取壊し 10m³当り代価表</p> <p>↓</p> <p>[コンクリートガラの小割の積算]</p> <p>・現場条件 → 小割必要性の検討 → ・小割が必要な場合は 別途計上</p> <p>↓</p> <p>[コンクリートガラ運搬の積算]</p> <p>2-1-5 (施工パッケージ)</p> <p>・標準単価(代価) → 補正式 → ・コンクリートガラ運搬 積算単価(代価) 1m³当り</p>	<p>記載の修正</p>
<p>3節 構造物撤去工 2. 取壊し工 P15</p>	<p>2-1-5 施工歩掛 1) 構造物取壊し (1) 土木工事標準単価の算定</p> <p>「第4章 市場単価」標準単価による。</p>	<p>2-1-5 施工歩掛 1) 構造物取壊し (1) 土木工事標準単価の算定</p> <p>「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>」標準単価による。</p>	<p>記載の修正</p>

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																																																		
4節 雑工 2. 現場鋼材溶接工 P21	<p>2-4-2 代価表作成手順</p> <p>3-17-9</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>2-4-4</p> <p>→ 溶接時間の選択 → ① 1m当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>① 1m当り溶接時間 ② 1日当り作業時間</p> <p>→ 1日当り溶接長の算定 → ② 1日当り溶接長</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価等】</p> <p>→ 補正係数の選定 → ⑥ 補正係数</p> <p>↓</p> <p>→ クレーン類必要性の検討 → ③ クレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) または起重機船等の有無 (起重機船種・規格、 引船規格、隻数)</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成 → 水中被覆アーク溶接 1日(m)当り代価表</p> <p>⑥ 補正係数 ② 1日当り溶接長 ③ クレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) または起重機船等の有無 (起重機船種・規格、 引船規格、隻数)</p>	<p>2-4-2 代価表作成手順</p> <p>3-17-9</p> <p>→ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>2-4-4</p> <p>→ 溶接時間の選択 → ① 1m当り溶接時間</p> <p>↓</p> <p>① 1m当り溶接時間 ② 1日当り作業時間</p> <p>→ 1日当り溶接長の算定 → ② 1日当り溶接長</p> <p>↓</p> <p>【<u>港湾請負工事積算基準 第一部 第4章 市場単価等</u>】</p> <p>→ 補正係数の選定 → ⑥ 補正係数</p> <p>↓</p> <p>→ クレーン類必要性の検討 → ③ クレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) または起重機船等の有無 (起重機船種・規格、 引船規格、隻数)</p> <p>↓</p> <p>→ 代価表の作成 → 水中被覆アーク溶接 1日(m)当り代価表</p> <p>⑥ 補正係数 ② 1日当り溶接長 ③ クレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) または起重機船等の有無 (起重機船種・規格、 引船規格、隻数)</p>	<p>記載の修正</p>																																																		
4節 雑工 2. 現場鋼材溶接工 P22 4節 雑工 2. 現場鋼材溶接工 P22	<p>2-4-4 施工歩掛</p> <p>2) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 市場単価等」による。</p> <p>3) 代価表</p> <p>(1) 水中被覆アーク溶接 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1283 1299 1591"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中被覆アーク溶接</td> <td>溶接機2台</td> <td>m</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油)t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回 鋼D t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 現場条件により、クレーン類を計上することができる。 なお、規格は現場条件により決定する。また、起重機船等に付属する引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 2. 船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 3. 現場条件により既設構造物等を基地として作業できない場合は別途考慮する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	水中被覆アーク溶接	溶接機2台	m		市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油)t吊	日		標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回 鋼D t吊	"		運4H/就8H	引船	鋼D PS型	"		運2H/就8H	<p>2-4-4 施工歩掛</p> <p>2) 市場単価の算定</p> <p>「<u>港湾請負工事積算基準 第一部 第4章 市場単価等</u>」による。</p> <p>3) 代価表</p> <p>(1) 水中被覆アーク溶接 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1283 2487 1591"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中被覆アーク溶接</td> <td>溶接機2台</td> <td>m</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油)t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>非航旋回 鋼D t吊</td> <td>"</td> <td></td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 現場条件により、クレーン類を計上することができる。 なお、規格は現場条件により決定する。また、起重機船等に付属する引船規格は、「<u>港湾請負工事積算基準 第一部 第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ</u>」による。 2. 船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 3. 現場条件により既設構造物等を基地として作業できない場合は別途考慮する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	水中被覆アーク溶接	溶接機2台	m		市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油)t吊	日		標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回 鋼D t吊	"		運4H/就8H	引船	鋼D PS型	"		運2H/就8H	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																	
水中被覆アーク溶接	溶接機2台	m		市場単価																																																	
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油)t吊	日		標準運転時間																																																	
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回 鋼D t吊	"		運4H/就8H																																																	
引船	鋼D PS型	"		運2H/就8H																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																	
水中被覆アーク溶接	溶接機2台	m		市場単価																																																	
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油)t吊	日		標準運転時間																																																	
クレーン付台船 または 起重機船	非航旋回 鋼D t吊	"		運4H/就8H																																																	
引船	鋼D PS型	"		運2H/就8H																																																	

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント
<p>4節 雑工 2. 現場鋼材溶接工 P23</p>	<p>2-5-2 代価表作成手順 [下地処理の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場条件等 → 足場の必要性の検討 → 必要な場合は別途計上 ↓ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価等】 施工規模 → 補正係数の選定 → ①補正係数 ↓ 2-5-4 標準市場単価 ①補正係数 → 代価表の作成 → 下地処理 1,000個所当り代価表 ↓ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【第4章 市場単価等】 施工規模 → 補正係数の選定 → ①補正係数 ↓ 標準市場単価 ①補正係数 → 代価表の作成 → 水中スタッド溶接 1,000本当り代価表 <p>2-5-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「第4章 市場単価等」による。</p>	<p>2-5-2 代価表作成手順 [下地処理の積算]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場条件等 → 足場の必要性の検討 → 必要な場合は別途計上 ↓ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>】 施工規模 → 補正係数の選定 → ①補正係数 ↓ 2-5-4 標準市場単価 ①補正係数 → 代価表の作成 → 下地処理 1,000個所当り代価表 ↓ 市場単価適用の検討 → 市場単価適用条件以外は別途積算 ↓ 【<u>港湾請負工事積算基準 第1章 第4章 市場単価等</u>】 施工規模 → 補正係数の選定 → ①補正係数 ↓ 標準市場単価 ①補正係数 → 代価表の作成 → 水中スタッド溶接 1,000本当り代価表 <p>2-5-4 施工歩掛 1) 市場単価の算定 「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>」による。</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
<p>4節 雑工 3. 現場鋼材切断工 P25</p>	<p>3-3-1-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ↓ 【第4章 市場単価等】 施工規模 → 補正係数の選定 → ⑥補正係数 ↓ (陸上作業の場合) 施工方法 現場条件 → クレーンの必要性の検討 → ⑦ラフテレーンクレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) ↓ (海上作業の場合) 施工方法 現場条件 → 作業船等の必要性の検討 → ⑧作業船の有無 (引船・台船または起重機船 船種・規格、引船規格、隻数) ↓ 標準市場単価 ⑥補正係数 ⑤1日当り切断長 ⑦ラフテレーンクレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) ⑧作業船の有無 (引船・台船または起重機船 船種・規格、引船規格、隻数) → 代価表の作成 → ガス切断 1日 (m) 当り代価表 	<p>3-3-1-2 代価表作成手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ↓ 【<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>】 施工規模 → 補正係数の選定 → ⑥補正係数 ↓ (陸上作業の場合) 施工方法 現場条件 → クレーンの必要性の検討 → ⑦ラフテレーンクレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) ↓ (海上作業の場合) 施工方法 現場条件 → 作業船等の必要性の検討 → ⑧作業船の有無 (引船・台船または起重機船 船種・規格、引船規格、隻数) ↓ 標準市場単価 ⑥補正係数 ⑤1日当り切断長 ⑦ラフテレーンクレーンの有無 (ラフテレーンクレーン規格、台数) ⑧作業船の有無 (引船・台船または起重機船 船種・規格、引船規格、隻数) → 代価表の作成 → ガス切断 1日 (m) 当り代価表 	<p>記載の修正</p>

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																																																																																								
4節 雑工 3.現場鋼材切断工 P25	<p>3-3-1-4 施工歩掛 3) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 市場単価等」による。</p>	<p>3-3-1-4 施工歩掛 3) 市場単価の算定</p> <p>「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>」による。</p>	記載の修正																																																																																								
4節 雑工 3.現場鋼材切断工 P26	<p>4) 代価表 (1) ガス切断 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="409 478 1323 718"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス切断</td> <td>切断機1台</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼100t積</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 海上作業とは、作業現場まで交通船等を利用する場合および作業状態が海上足場もしくは台船等の船舶を利用する場合とし、陸上作業は海上作業以外のものとする。 2. 陸上において、必要に応じ、ラフテレーンクレーンを計上することができる。 3. 海上において、吊降しを伴う場合は、起重機船等・引船を計上することができる。また、吊降しを伴わない場合、台船・引船を計上することができる。 4. クレーン機(船)種・規格は、現場条件により決定する。なお、起重機船等を使用する場合の引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 5. 船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 6. 現場条件により足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-3-2-2 代価表作成手順</p> <pre> graph TD A[現場条件等] --> B[市場単価適用の検討] B --> C[3-3-2-4] C --> D[切断時間の選定] D --> E[1日当り切断長の算定] E --> F["【第4章 市場単価等】"] F --> G[補正係数の選定] G --> H[クレーン類の必要性の検討] H --> I[代価表の作成] A --> J[市場単価適用条件以外は別途積算] D --> K["① 1m当り切断時間"] E --> L["② 1日当り切断長"] G --> M["③ 補正係数"] H --> N["④ クレーンの有無または (ラフテレーンクレーン規格、台数) 起重機船等の有無 (起重機船船種・規格、 引船規格、隻数)"] I --> O["水中酸素アーク切断 1日当り(m)代価表"] </pre>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ガス切断	切断機1台	m			市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	"	-		運6H/就8H	引船	鋼D PS型	"	-		運2H/就8H	台船	鋼100t積	"	-		就業8H	引船	鋼D200PS型	"	-		運2H/就8H	<p>4) 代価表 (1) ガス切断 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 478 2510 718"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>陸上</th> <th>海上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガス切断</td> <td>切断機1台</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>台船</td> <td>鋼100t積</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D200PS型</td> <td>"</td> <td>-</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 海上作業とは、作業現場まで交通船等を利用する場合および作業状態が海上足場もしくは台船等の船舶を利用する場合とし、陸上作業は海上作業以外のものとする。 2. 陸上において、必要に応じ、ラフテレーンクレーンを計上することができる。 3. 海上において、吊降しを伴う場合は、起重機船等・引船を計上することができる。また、吊降しを伴わない場合、台船・引船を計上することができる。 4. クレーン機(船)種・規格は、現場条件により決定する。なお、起重機船等を使用する場合の引船規格は、「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ</u>」による。 5. 船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 6. 現場条件により足場が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>3-3-2-2 代価表作成手順</p> <pre> graph TD A[現場条件等] --> B[市場単価適用の検討] B --> C[3-3-2-4] C --> D[切断時間の選定] D --> E[1日当り切断長の算定] E --> F["【<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>】"] F --> G[補正係数の選定] G --> H[クレーン類の必要性の検討] H --> I[代価表の作成] A --> J[市場単価適用条件以外は別途積算] D --> K["① 1m当り切断時間"] E --> L["② 1日当り切断長"] G --> M["③ 補正係数"] H --> N["④ クレーンの有無または (ラフテレーンクレーン規格、台数) 起重機船等の有無 (起重機船船種・規格、 引船規格、隻数)"] I --> O["水中酸素アーク切断 1日当り(m)代価表"] </pre>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要	陸上	海上	ガス切断	切断機1台	m			市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		-	標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	"	-		運6H/就8H	引船	鋼D PS型	"	-		運2H/就8H	台船	鋼100t積	"	-		就業8H	引船	鋼D200PS型	"	-		運2H/就8H	記載の修正
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																			
		陸上	海上																																																																																								
ガス切断	切断機1台	m			市場単価																																																																																						
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		-	標準運転時間																																																																																						
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	"	-		運6H/就8H																																																																																						
引船	鋼D PS型	"	-		運2H/就8H																																																																																						
台船	鋼100t積	"	-		就業8H																																																																																						
引船	鋼D200PS型	"	-		運2H/就8H																																																																																						
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																						
			陸上	海上																																																																																							
ガス切断	切断機1台	m			市場単価																																																																																						
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		-	標準運転時間																																																																																						
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	"	-		運6H/就8H																																																																																						
引船	鋼D PS型	"	-		運2H/就8H																																																																																						
台船	鋼100t積	"	-		就業8H																																																																																						
引船	鋼D200PS型	"	-		運2H/就8H																																																																																						

令和8年度 港湾請負工事施工パッケージ型積算基準 対比表

掲載頁	現行（旧）	改定（新）	コメント																																																		
4節 雑工 3. 現場鋼材切断工 P27	<p>3-3-2-4 施工歩掛 3) 市場単価の算定</p> <p>「第4章 市場単価等」による。</p> <p>4) 代価表 (1) 水中酸素アーク切断 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="409 516 1323 827"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中酸素アーク切断</td> <td>切断機2台</td> <td>m</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.現場条件により、クレーン類を計上することができる。 2.クレーン類の種類・規格は、現場条件により決定する。なお、起重機船等を使用する場合の引船規格は、「第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ」による。 3.船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 4.現場条件により既設構造物等を基地として作業できない場合は別途考慮する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	水中酸素アーク切断	切断機2台	m		市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃		運4H/就8H	引船	鋼D PS型	〃		運2H/就8H	<p>3-3-2-4 施工歩掛 3) 市場単価の算定</p> <p>「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>」による。</p> <p>4) 代価表 (1) 水中酸素アーク切断 1日(m)当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 516 2510 827"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水中酸素アーク切断</td> <td>切断機2台</td> <td>m</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン</td> <td>排出ガス対策型(油) t吊</td> <td>日</td> <td></td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 または 起重機船</td> <td>t吊 非航旋回 鋼D t吊</td> <td>〃</td> <td></td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引船</td> <td>鋼D PS型</td> <td>〃</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.現場条件により、クレーン類を計上することができる。 2.クレーン類の種類・規格は、現場条件により決定する。なお、起重機船等を使用する場合の引船規格は、「<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第2章 工事費の積算、1節 直接工事費、付属資料-1 作業能力等、2. 作業船と引船の標準組合せ</u>」による。 3.船舶・機械の運転日数は、施工方法および現場条件を考慮し、決定する。 4.現場条件により既設構造物等を基地として作業できない場合は別途考慮する。</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	水中酸素アーク切断	切断機2台	m		市場単価	ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		標準運転時間	クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃		運4H/就8H	引船	鋼D PS型	〃		運2H/就8H	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																	
水中酸素アーク切断	切断機2台	m		市場単価																																																	
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		標準運転時間																																																	
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃		運4H/就8H																																																	
引船	鋼D PS型	〃		運2H/就8H																																																	
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																	
水中酸素アーク切断	切断機2台	m		市場単価																																																	
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(油) t吊	日		標準運転時間																																																	
クレーン付台船 または 起重機船	t吊 非航旋回 鋼D t吊	〃		運4H/就8H																																																	
引船	鋼D PS型	〃		運2H/就8H																																																	
4節 雑工 4. その他雑工 P28	<p>4-1-3 代価表作成手順</p> <p>4-1-4</p> <p>・現場条件 → 市場単価適用の検討 → 標準市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価等】</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → かき落とし 100m²当り代価表</p>	<p>4-1-3 代価表作成手順</p> <p>4-1-4</p> <p>・現場条件 → 市場単価適用の検討 → 標準市場単価適用条件以外は別途積算</p> <p>↓</p> <p>【<u>港湾請負工事積算基準 第1部 第4章 市場単価等</u>】</p> <p>・標準市場単価(クレーン抜き) → 代価表の作成 → かき落とし 100m²当り代価表</p>	<p>記載の修正</p>																																																		
4節 雑工 4. その他雑工 P29	<p>4節 雑工</p> <p><u>1-1 削孔</u></p> <p><u>1-1-1 適用範囲</u></p> <p><u>1-1-2 施工フロー</u></p> <p><u>1-1-3 代価表作成手順</u></p> <p><u>1-1-4 コンクリート削孔</u></p>	<p><u>4-2 削孔</u></p> <p><u>4-2-1 適用範囲</u></p> <p><u>4-2-2 施工フロー</u></p> <p><u>4-2-3 代価表作成手順</u></p> <p><u>4-2-4 コンクリート削孔</u></p>	<p>項番号の修正</p>																																																		